

こころの教室だより

H28年 7月号

心の教室相談員 江部 弥生

日差しが強さを増し、こころや体が弱まってしまいがちな日々ですが、汗をいっぱいかきながらも、暑さに負けず、外で遊び、勉強する子どもたちの姿はたくましいですね。

今回は相談時に私が気をつけていることについてお話します。

気をつけている点は2つです

- ① 相談者の話を肯定的に聞く(決して自分の価値観で否定しない)
- ② 話し方やその日の服装、兄弟の有無、友だち関係など、相談者がおかれている環境や状況を知る(教室に貼ってある絵や作品などから、相談者の情報を増やし、総合的に判断する)

以前、放送されていた、TBSテレビの日曜ドラマ『99.9—刑事専門弁護士—』で、松本潤さん演じる深山大翔が被告人に話を聞く時、事件の詳細より、まず、その人の生い立ちから聞きます。同僚からは、「今は関係ないだろ？」と首をかしげられますが、初めて会う被告人の生い立ちを知ることで、事件の背景を探ろうとします。

私も、子どもたちと短い時間で相談を聞く上で、その子の情報を大切にしています。

普段、どうやって過ごし、どう思う子なのか。何色が好きで、どんなことが楽しいのか。細かい情報でも積み重ねていくと、何に対して怒りや不安を感じるのかが、見えてきます。こころの不安は千差万別。学校の中にあふれている情報をできる限り考慮して、相談に臨み、その後どうフォローしていくのかを考えます。

ドラマのように、すべて解決！と答えがでることではありませんが、子どもたちのこころのモヤモヤが少しでもなくなるように、これからも努力していきたいと思います。

7月のこころの教室開放日(3階相談室にて)

1(金)
4(月)
5(火)
8(金)
11(月)
12(火)
15(金)
19(火)

10時～14時

20分・15分ほかは
子どもたちの相談を優先します
※ふだんは相談室にいますが、
各教室にいるときもあります